授業科目　こどもの世界

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報
永井　洋一	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

【概要・一般目標：GIO】

本講義では子どものトータルな発達について，神経系を中心として身体・心理・対人関係・身辺自立・遊び等の観点から紹介し，自分の発達の足跡を振り返るとともに，将来の子育てや職業としてこどもの発達に関わる場合の基礎となる知識を提供する.

【行動目標：SBO】

１．発達とはどういう現象であるか説明できる.
２．中枢神経系の発達の概略について，胎児期から成人に至るまでの概略を説明できる.
３．姿勢や運動の発達について，主に乳児期を中心に順序と Milestone を説明できる.
４．手の働きの発達について，遊びや身辺自立と関連づけて説明できる.
５．感覚・知覚・認知の発達についてピアジェの認知発達理論に基づいて説明できる.
６．身辺自立の発達の順序とそれに影響を与える要素について説明できる.
７．対人関係と遊びの発達について０～６歳頃までの範囲で説明できる.
８．発達に障害を持つことの意味と影響について説明できる.

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人間発達総論～あなたはどのように発達してきたか？	1	講義
2	脳の発達～胎児は知っている？	2	講義
3	姿勢と運動の発達～乳児はどのように重力との戦いに勝利を収めるのか？	3	講義
4	手の働きの発達～なぜ最近の子どもは不器用なのか？	4	講義
5	感覚・知覚・認知の発達～自分より賢い子どもを育てたい？	5	講義
6	身辺自立の発達～おしめが取れたのは遠い昔だったなぁ	6	講義
7	対人関係と遊びの発達～なぜ人は遊ぶのか？	7	講義
8	発達の障害とその影響～障害を抱えて生きるとは？	8	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	特に指定しない			
参考書	人間発達学～ヒトはどう育つのか	竹下研三	中央法規	2009・2,600 円＋税
その他の資料	初回を除き，レジュメは学内 LAN にアップロードするので，各自ダウンロードして準備すること.			

【評価方法】

出席：10%程度，授業への積極的参加：20%程度，期末試験 ： 70%程度

【履修上の留意点】

１．授業内容の理解を確認するために抜き打ちで小テストを行う．時間や形式は未定.
２．授業中の質問に 10 秒以内に適切に解答した場合は，「積極的参加」のボーナス点を付与する.